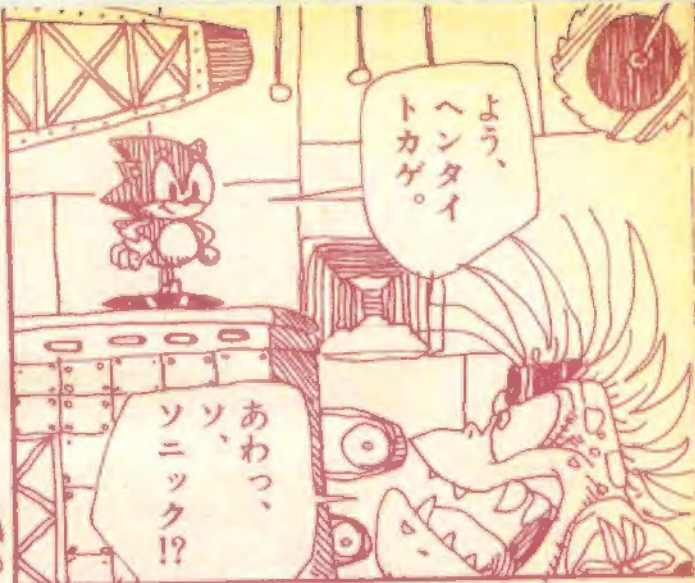
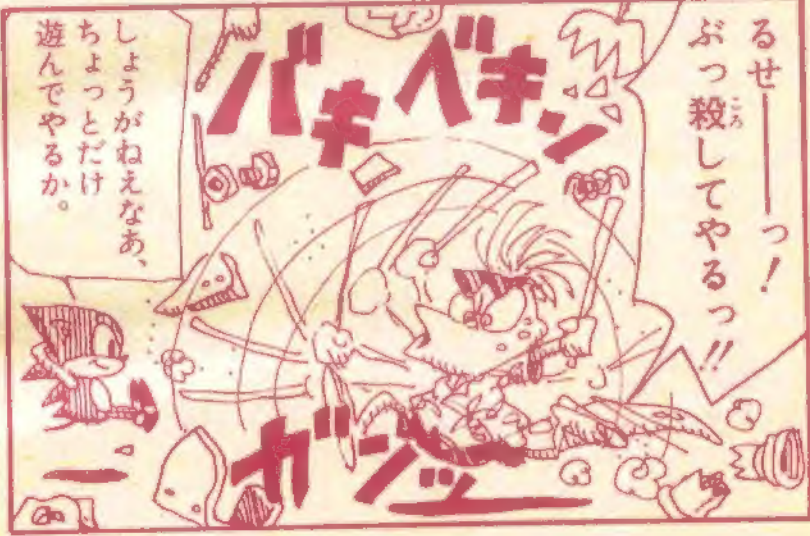
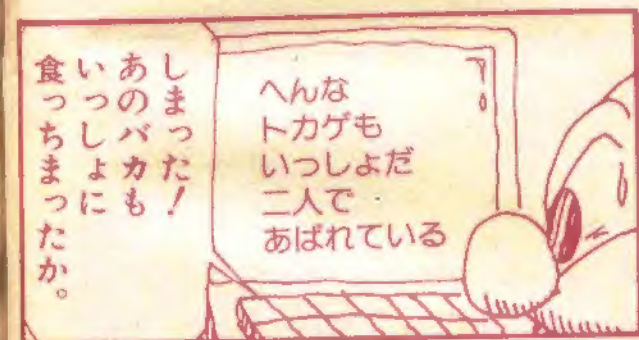
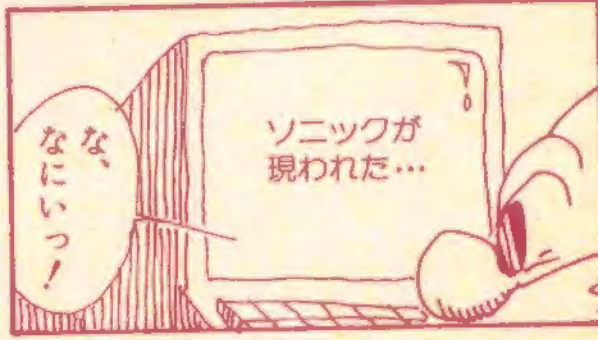
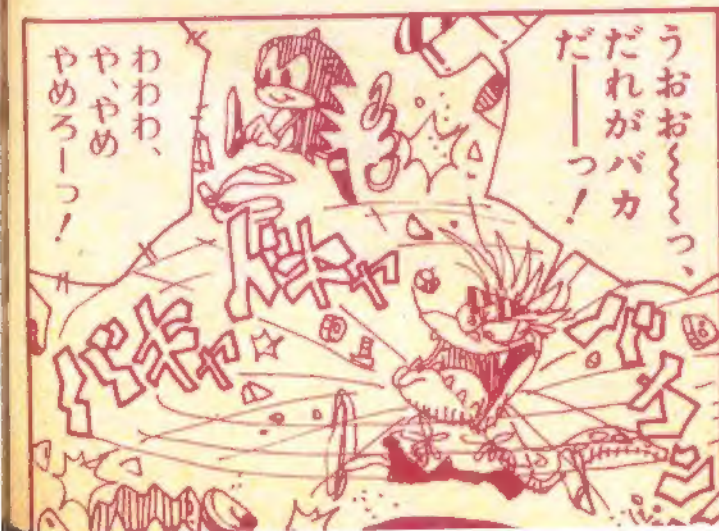
*保護色＝敵から身を守るため、自分の体の色をまわりの色と同じ色に変える性質。あまがえるやカメレオンにある。

ひえ〜〜、エミーのヤツ、いやに色っぽいじゃねーか。
ガキのくせに反則だぜ、こいつあ。
もうがまんできねーや。
エッチー！このヘンターイ！
ゴン
ギ
ガン
あ！アントンベルーカだ。
こ、こらー、ベルーカ。
ん？
おまえ、また悪さしたな。もう許さないぞ！
ふーーん、
オマエが許さないと、オレはどうなるわけ？

こうしてやるっ！
バババババッ
あ、あれ――っ!?
ケケケケ
ばっかでー。自分でうまってらあ。
う、うわあ。
ズブズブズブ…
どうなってるんだ？
なんだなんだ、まだ砂浜にもぐる気かよ。
うわあ、アリ地獄だ――っ！
キャーッ！
ちがうよ、ハリネズミトカゲ地獄だよー。
なにを冷静なこと言ってるんだ、このバカ！
ダダダダダッ！
もうだめだ――っ!!
ザザ――――ッ！

げえっ！
なんだ？
ありゃーっ!?
わーーっ！
食べられ
ちゃうよーーっ！
たすけてーーっ!!
よっこらしょっと。
Dr.エッグマン参上ってね。
ザザー
フッフッフ、やっとニッキをつかまえたぞ。
このパックンバードのハラの中はコンピュータ室になっているのだ。
気絶してるみたいなんで、ちょっくらおこしてやるか！
ズン
つまり、こうなっている。
今日こそおまえを調べて、ソニックとの関係をあばいてやるからな。
ゴン
ててて…。
いったいどうなっちゃったんだ？

よう、ヘンタイトカゲ。
あわっ、ソ、ソニック!?
このヤロー、ここで会ったが百年目だっ!
おっと、こんなことしてる場合じゃないんだけどね。
るせーーっ! ぶっ殺してやるっ!!
バキ
ベキン
ガシッ
しょうがねえなあ、ちょっとだけ遊んでやるか。
さーてと、どんなデータがでたかな。
楽しみだわい。
カチ
カチャ
カチャ
ソニックが現われた…
な、なにいっ!
へんなトカゲもいっしょだ
二人であばれている
しまった!
あのバカもいっしょに食っちまったか。
おいソニック、あばれるのはやめろっ!
けっ、あばれてんのはオレじゃなくて、このバカだぜ。
うおお〜〜っ、だれがバカだーーっ!
わわわ、や、やめやめろーっ!
バキャ☆
ドンギャ

ううっ、気分が悪い ウプッ… …吐くっ!
ええっ!
ゲロゲ〜ロ
おえ———っ!
キリ
スッ
くそっ。
へへへ、ちょっと ばっちかったけど 助かったぜ。
やれやれ
おーい、オレはまだ ここだぞーっ。
ニョキッ
ちょうどいいや。
おまえは そこにいて、いっしょに 爆発しちゃえ。
ばくはつ……って?
プスス…
体内の部品を こわしてもって きちゃったから、今ごろロボット内は ムチャクチャのはずさ。
くそっ、なんでオレが こんな目に会わな きゃいけないんだ。
うるさいっ! おまえのせいで こんな目にあった んだ。
つべこべいうと あたま ふっとばすぞ!
びえ〜ん
どわーーっ!!
Dr.エッグマン 研究所 跡
なんなんだよ、この ジジィーッ!
■9月号につづく!!